

【様式：個別の教育支援計画】

記入例：年中児を想定しています。

園名：会津〇〇子ども園

連絡先：

(令和 〇年5月 〇日作成)

令和 〇 年度（3歳児）		令和 △ 年度（4歳児）		年度（5歳児）	
園長名：〇〇 〇〇		園長名：〇〇 〇〇		園長名：	
担任名：△△ △△		担任名：□□ □□		担任名：	
ふりがな 氏名	あいづ 会津 〇〇 (男・女)	生年月日	令和〇年〇月〇日		
		入園年月日	令和〇年4月6日		
ふりがな 保護者氏名	あいづ 会津 △△ ()	住所 連絡先	〇〇市△△町□□一丁目□番地2 〇〇ハイツ 203号室 Tel 090-1234-5678		
発達検査 診断名等	・注意欠如多動症 (令和〇年△月□日〇〇病院△△医師による) ・田中ビネー知能検査 CA:3-3 MA: 2-10 IQ:〇〇 (令和〇年△月□日〇〇 病院△△医師による)	手帳等	未所持 <div>所持している場合 〇〇手帳 福島県第123456号 〇級□種／ A 〇種令和〇年〇月〇日交付 令和〇年〇月更新</div>		
医療・ 療育機関等	・福島県総合療育センター小児科 〇〇医師 3か月に1回受診 ・□□耳鼻科 △△医師 ・△△眼科 斜視の経過観察 〇〇医師 1年に1回受診	保健・ 福祉	・〇〇市保健師 △△さん <div>担当の保健師さんや利用している事業所などを記入します。 児童発達支援事業所「□□□」週1回利用</div>		
かかりつけの病院や主治医、 通院の頻度を記入します。					
子どもの姿（実態）					
健康	・走ったり、跳んだり、投げたりする運動遊びは年齢相応に できるが、不注意の傾向があり、危険回避が難しいことがある。 ・偏食がある。少量ずつ盛りつけ、友達が食べている様子 を見て、どんな味なのか話題にすると、食べられることがある。 ・おむつ使用。→4歳〇か月：定時排泄で日中は下着で過 ごせる。	人間関係	・朝のお集まりなど、学級で毎日行っている活動では、5分ほ どならば支援員の先生と一緒に参加できるようになっている。 ・誕生会や〇〇集会など、大きな集団での活動や初めての活動 では、落ち着かず、途中で教室に戻ってしまう。 ・R△追加：大人が仲立ちすることで、ごっこ遊びや簡単なルー ルのある遊びを友達と一緒にできるようになってきた。 <div>例として様々なお子さんの様子を挙げています。担当するお子 さんの実態に応じて、必要な部分を記入します。</div>		
環境	・園で飼育しているうさぎやめだか、園庭で見つけた昆虫な どに興味をもち、積極的に世話をすることができる。夢中にな ると終了時刻に活動を終えることが難しい。 ・友達が遊んでいる玩具に次々に興味をもち、試そうとする が、1つの玩具で落ち着いて遊べる時間はまだ短い。友達 と目的を共有して遊ぶには、大人の仲介が必要である。	言葉	・思い通りにならないときに、友達を押す、ほしい玩具を黙ってど つしてしまうなどすることあるが、教師がモデルを示すと「かして」 「一緒に遊ぼう」など、言葉で伝えようとするが見られる。 ・好きなテーマの絵本は、集中して見たり、聞いたりできる。 ・R△追加：時計やカレンダーの数字、友達の名前に興味をも ち、何と書いてあるのか質問することが見られる。自分の名前が 見て分かる。		
表現	・絵を描いたりつくったりすることを好み、様々な色や形を試 して取り組むことができる。 ・絵具や粘土、砂遊びなど、直接、手で触れて汚れるような 素材には、苦手意識がある。 ・R△追加：歌詞を覚えたり、イメージしたことを言葉で表現し たりするには時間がかかるが、動きを真似たり、リズムに合 わせて踊ったりすることができる。	その他	・音声言語で説明するよりも、絵を描いたり、身振りを使ったりし て説明した方が、伝わりやすい。 ・興味をもったものに対して、衝動的に行動するため、周囲の幼 児と接触したり、本人の意に反して誤解されてしまったりするこ とがある。 <div>課題となっていることに偏らず、できていること、対象児の 良さもわかるように記入します。幼児の成長に合わせて、実 態に変化があった場合には追加します。</div>		
願い					
本人	令和〇年度	毎日楽しく遊びたい。			
	令和△年度	お友達と仲良くしたい。			
	年度				
保護者	令和〇年度	・園生活に慣れて、お友達や先生と楽しく過ごしてほしい。 ・トイレで排泄できるようになってほしい。			
	令和△年度	・やりたいことや、困ったときなどに、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってほしい。 ・行事のときなどに、見通しをもって落ち着いて参加できるようになってほしい。			
	年度				

支援の目標	
◎集中しやすい環境構成を行う。	○注意をコントロールする方法を身に付ける。
◎生活や活動の流れをわかりやすく知らせる。	○予定表や手順表を活用して順序や時間的な概念を育てる。
◎本人の気持ちを汲み取って言語化する。	○気持ちの伝え方を身に付ける。

◎支援による改善が図られること。→ 次の支援内容・方法に具体的に記入する。

○指導により本人が身に付けることで生活しやすくなること。→ 個別の指導計画に具体的に記入する。

支援内容・方法 (個別に必要な合理的配慮)	【教育内容・方法】	【評価】
	【支援体制】	【評価】
	【施設・設備】	【評価】
年度末の子どもの姿と願い	令和 ○年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 年度末までに見られた子ども変容を基に、次年度育てたい幼児像を記入する。 </div>
	令和 △年度	
	年度	
	年度	
新しいステージ(転園・転所や就学等)でのより良い連携のために伝えたいこと		
本人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 転園、転所や就学(年長児の年度末)の際に記入する。進級の場合は、空欄でかまわない。 </div>	
保護者		
保育者		

【個人情報の取り扱いについて】

- 関係者以外が閲覧できないようファイル管理を厳正に行う。
- 本計画を策定した機関が、別の機関に本計画を提示する場合は、事前に必ず保護者の了解を得る。
- 2において本計画の提示を受けた機関は、その情報を提示目的以外に使用してはならない。

※ 本計画の内容に同意し、関係機関や就学先等に情報共有することを承諾します。

年度	令和○年度	令和△年度	年度
保護者署名	あいづ 会津 △△	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 懇談等で、合意形成ができたなら、署名していただく。 </div>	